



令和六年 初詣のご案内

一、正月期間のご参拝について (通常通り実施)

○しめなわ市 十二月二十三日〜三十一日
○新年の正月飾りと正月授与品を一足先にご用意しま
す。

○大晦日より元旦晩まで夜間参拝ができません。
○大晦日 二十三日より新年初祈禱受付開始
○元旦 初詣・授与品頒布開始
新年初祈禱 一番祈禱齋行

午前二時 夜間祈禱受付終了
午前二時三〇分 屋台・露店商消灯
但し、境内は夜間ライトアップ特別警備有り
お参り・おみくじ・授与品頒布対応は翌朝まで可
午前六時五〇分 初日の出
午前七時 新年初祈禱受付開始
午前七時 正月授与品特設大テント 頒布開始
午前九時 龍蛇神の社特別拝観開始 (午後五時迄)
午後六時 新年初祈禱受付終了
午後八時 授与品頒布終了

※以後、二月末まで提灯飾りライトアップ有 夜間参拝
可能
○二日 三日
○四日以降 年中無休
○祈禱受付 (午前八時三十分〜午後六時)
○正月授与品特設大テント (午前八時〜午後八時)
○龍蛇神の社特別拝観 (午前九時〜午後五時迄)
○月次祭 (三日 午前十時三十分)

○四日以降 年中無休
○祈禱受付 (午前八時三十分〜午後四時三十分)
○正月授与品特設テント
四日 八日 (午前八時三十分〜午後六時)
九日 以降 (午前八時三十分〜午後五時)

○新年初祈禱は節分まで毎日齋行。(予約不要)
○正月三日は境内に一三〇台の駐車場・秦野市保健
福祉センター他、約五〇〇台駐車場をご用意してお
ります。例年、車の渋滞が懸念されますが、秦野市
保健福祉センターの臨時駐車場(徒歩五分)はほぼ
空きがあります。あわせて、元旦から成人の日まで
境内隣接の駐車場は慢性的に渋滞しています。なる
べく無料シャトルバスのご利用・乗り合わせにご協
力下さい。

※例年三日に齋行される福迎祭のお相撲さんの参列・
餅まき・餅つきは本年より執り行いません。お相撲
さんは節分・豆まきに来ます。
※元旦より節分まで、混雑解消の為、当社発行の御朱印
帳以外の御朱印は和紙に浄書したものを授与します。

正月期間は元旦〜節分まで
令和六年
初詣

令和六年初詣は参拝期間
を延長して節分まで準備し
ております。

期間中は新年の破魔矢や干
支飾りなど正月しかなない縁
起の良い飾り物に彩られ
る。元旦より新年初祈禱が
催され、古式豊かな出雲神
楽の音色を奏で新年最初の
願いを神様にお願ひする。
三が日には例年十万人以上
の参拝者が訪れ、屋台や露
店が出店し、三が日を通じ
てお参りの列は絶えない。
おみくじの行列など大変な
賑いで、授与所に入りきら
ない正月飾り等は境内に特
設テントを設けて授与。

お正月限定御朱印
千支「辰」

令和六年元旦〜節分まで
お正月限定御朱印を頒布。
辰年にちなんだ龍踊(シヤ
オドリ)を準備。龍踊は
古く中国から伝来した雨ご
いやお正月などのお祝い行
事で鳥獣戯画の楽しいウサ
ギたちが龍と一緒に踊って
愉快にお正月を彩ります。
(書き置き御朱印のみ・朱
印帳への浄書不可)



令和6年1月
発行
出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢 1221
TEL:0463-81-1122
メール info@izumosan.com
編集兼発行人
副分祠長 草山和泉
季刊毎年2回発行
https://www.izumosan.com/

年越はしめなわ市
十二月二十三日〜大晦日
まで注連縄市を実施、新年
のめでたい縁起物注連縄
飾り(限定五〇〇本)を準備
混雑を避け神棚のお札新年
の御守り・授与品など、一
足早く頒布開始。古来より
新年の準備は十二月に行わ
れ、師走という言葉に表さ
れるよう、年末に新年のお
札を求め、慌ただしく年を
締めつけていく様は風物詩で
ある。

お正月のライトアップ
令和五年十二月二十三日
から新年二月末迄、竹灯籠
や提灯をライトアップ。境
内は数百灯の提灯飾りで照
らされ、日暮れ時、幻想的
な夕闇の参拝もおススメ。
夜二十一時まで。但し、日
が短いので授与所等先に閉
まるので時間要確認。



混雑状況が分かるよ
うに公式サイトで24
時間リアルタイムで
配信しております

参拝バス・駐車場の
ご案内
小田急線秦野駅より当社
まで例年より期間を延長し
て、元旦より十四日・一月
中のすべての土日・二月三
日節分(土)までの合計十
九日間、無料送迎バスを運行。
例年、元旦から成人の日
まで当社境内の駐車場は入
りきれないほど混雑しま
す。公共機関のご利用をお
勧めします。自転車バイク
の駐車場は境内の入口にあ
ります。(下記参照)



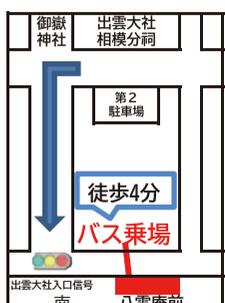
おまつり広場 ダイコク市開催!!
境内ライトアップも
露店は令和六年元旦〜二月三日まで
令和六年元旦より二月三
日まで境内参道に於いて、
ダイコク市が開催される。
参拝が集中する三が日だけ
ではなく二月三日の節分
迄、お正月の縁日を体験で
きるよう毎日開催している。
縁起の良い出雲そばなど
島根のお土産販売のほか、
串焼き販売を始め地元商
店・おいしいキッチンカー
も出店予定。
お正月にしかない特別な
縁日を楽しめる。

Table with bus schedule: 参拝者専用無料バス 25人乗り, 元旦・2日・3日, 15分間隔で運行. Includes departure times from Aino Station South Exit.



ダイコク市縁日は特に元旦
より八日、以降の土日祝日が
盛況(期間中平日も出店あ
り)。終了は二月三日(節分)
まで。また、期間中すべての
日で境内に正月授与品特設大
テントを開設し、「立春大吉
縁起」破魔矢「干支縁起物」
頒布を始め三が日にお参りでき
なかつた方の為に新年初
祈禱は節分まで行われ、新年
のいずも暦の頒布(二世帯一
部・二万円限定無料)等も行っ
ている。

Table with bus schedule: 1月4・5・6・7・8(月祝), 9・10・11・12・13(土)14(日), 20(土)21(日)27(土)28(日), 2月3日(土・節分) 30分間隔運行. Includes departure times from Aino Station South Exit.



お正月
特設授与所

### 年末はしめなわ市 — お正月の準備 —

神社のしめ縄は神の領域と現世を分け隔てる『結界』として、なわばりを指し示す。しめ縄の由来は、古事記に書かれた天照大神の神話だと言えられ、その昔、岩戸にこもった天照大神を神々が連れ出した際「もう岩戸に入らないように」と岩戸にしめ縄をつけたことに由来すると伝えられます。

関東の場合は『一月七日』関西の場合は『一月十五日』というように地域によって異なることも多い。正月飾りを片付ける際には、古くよりどんと焼きの習慣があります。当社におきましてもお気持ちをお金箱に納めて頂き、正月飾りのお焚き上げを受付。(五月人形などは別途引取料が必要)令和六年は注連縄・正月飾り各種を多数ご用意しております。



「出雲そば」は、日本三大そばとも称され、出雲地方の伝統ある食文化といえます。「挽きぐるみ」といって玄ソバの殻ごと製粉し、殻に近い部分が他の地方より多く含まれている為、色が濃く、香り・味が強く、春の山菜のほのかな苦味のよくな、独特な風味があります。令和六年の新年初祈禱の特別授与品は、「出雲そば」。令和五年大好評でしたので、製造元の出雲地方の「出雲たかはし」に依頼してパッケージも新たに二万食の「出雲そば」を謹製。伝統的な製法で打たれた手打ち感にこだわり低温長期熟成した美味しい乾麺です。

### 年越しそばには出雲そばはいかがですか？

「年越しそばの由来」年越し蕎麦の起源をさかのぼると、江戸時代中期商家では毎月末日に蕎麦を食べる「三十日蕎麦(みそかそば)」という習慣があり、これが転じて大晦日の年越し蕎麦になったと考えられています。

その当時の江戸では江戸っ子(脚氣にならない)という巷説がそばの流行を後押ししました。諸説ありますが、蕎麦は細く長いことから延命・長寿・家族の縁を長く続くように折ったという説

□蕎麦(生えている蕎麦)は風雨に叩かれて翌日陽がさせばすぐ起き直る事から健康の縁起を担ぐ説など。地域ごとに様々な食べ方で親しまれる蕎麦。季節の節目に縁起よく年越しそばを、吟味したそば粉に昔ながらの技法をそのまま取り入れ、特殊低温乾燥法で熟成させ、包丁切りして丁寧に作り上げた一品です。

御参拝の思い出に縁起の良い出雲そばをお楽しみ下さい。



### 名物むすび大福販売開始・正月菓子のご案内

◆むすび大福 十月より「出雲大社相模分祠名物むすび大福」の販売が開始された。手作りでお漬に奉製した本格和菓子で毎年神在月の十月より翌四月までの期間限定販売。当社のオリジナル和菓子として二十年以上変わらぬ伝統の味わいをお楽しみ下さい。もっちりとした餡に大きな栗が入った紅白の大福です。



◆辰年最中 毎年正月には期間限定で干支を象ったかわいらしい最中を奉製している。今年は十二支の辰を象ったかわいらしい最中。古来より龍は成功と発展の象徴とされとされ、古くより開運隆昌の縁起物として愛されてきた。正月限定の八雲庵のオリジナル和菓子の一つです。



◆美保岐餅「みほぎもち」美保岐餅は、出雲国造島根県出雲大社(宮司)の代替りの時に奉献される三色の「美保岐玉」にちなんで謹製された白・赤・青の生菓子です。長寿と健康を祈る縁起の良いお餅ですので、慶事の際の贈り物や年賀の手土産にご利用下さい。(正月期間限定販売)



### 初詣 ダイコク市 縁日の風景



秦野市マスコットはだの三兄弟も初詣

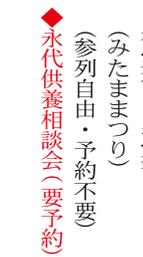
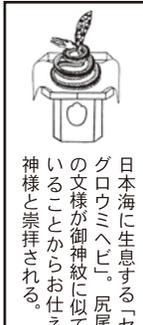


- 一月一日 元旦(節分まで) 初詣・ダイコク市・ほんぼり・ナイトアップ
- 二月三日 節分祭
- 二月四日 (立春) 下旬 梅祭り・つるしびな
- 二月十一日 紀元祭
- 二月十七日 祈年祭
- 二月二十三日 天長祭
- 三月二十日 春分の日
- 春季祖霊祭(祖霊社) 三月二十三日(四月十四日) さくらまつり
- 四月十三・十四日 よさこい縁まつり
- 六月下旬 春の陣
- 六月下旬 出雲大社教団大祭 おくになが(島根県 茅の輪くぐり)
- 七月一日(八月末まで) 夏詣 なつもうで
- 七月下旬 ぼおずき市朝顔市 写真展
- 七月十三日(十六日) (新暦お盆参り) 祖霊社みたままつり
- 八月十三日(十六日) (旧暦お盆参り) 祖霊社みたままつり
- 九月九日 出雲大社相模分祠例祭
- 九月二十三日 秋分の日 秋季祖霊大祭(祖霊社) 旧暦十月十日(新暦十一月十日) 出雲大社(島根県) 神迎祭
- 十一月 七五三 菊花展
- 十二月三十日 年越の大祓

《月毎の祭典》  
 ◆毎月一日 十時三十分 出雲大社相模分祠月次祭 (参列自由・予約不要)  
 ◆毎月第一日曜日十五時 祖霊社・月次祭 (みたままつり) (参列自由・予約不要)  
 ◆永代供養相談会(要予約)

《令和六年神事行事予定》 ※変更の場合もあります

出雲大社には龍神様がいらっしゃる。旧暦十月は「神無月」ですが、出雲地方では全国の八百万(やおよろず)の神が御集まりになられることから「神在月(かみありづき)」と呼ばれます。神々は旧暦十月十一日(令和六年十一月二十四日)から十七日までの七日間は出雲大社へ集われ、大國主大神の御許において神々による縁結びのお話し合いがなされます。この折、神々の先導役をお任せされる御使神として、古くより「龍蛇神」(りゅうじやしん)の信仰があります。「龍蛇神」は海蛇の神様で、水に住む「龍」の信仰からは火



### 令和六年節分祭 豆まき神事 横綱照ノ富士も参列予定

令和六年二月三日(土) 恒例の節分祭・豆まき神事を計画。コロナ禍の中、開催できないう状況が続いていたが、四年ぶりの開催となる。元横綱旭富士・現伊勢ヶ濱親方率いる伊勢ヶ濱力士達による迫力の豆まきが執り行われる。

節分祭には現在一人横綱である横綱照ノ富士も参加予定。横綱になってから初めての参列となる。また、熱海出身の熱海富士閣(前頭八枚目在籍)は令和五年夏場所で十両優勝を果たし、秋場所では初日から勝ち星を重ね、千秋楽の優勝決定戦で大関貴景勝とのぎを削ったが、惜しくも初優勝はならず。十一勝四敗と活躍し、初の敢闘賞を受賞。ほか宝富士閣・翠富士閣・照強・錦富士が参列予定。

士が参列予定。

毎年、時き手は二百名近く、参加者は数千人にも及び大変な賑いである。以前までは当分祠の篤志家や崇敬者による協賛により、全ての福豆に景品くじが用意されていた。

今後の豆まきでは、抽選制として当たった人のみ景品が用意される。三十年以上続く伝統ある行事でもあるので、コロナ禍、社会生活の変化にあわせ、新しいやり方を模索し、長く続けられる豆まき神事を再考している。参加者は今まで通り自由に参加し福豆が授与される。時き手は事前に申し込みが必要。

### 歌舞伎踊りの始祖 出雲阿国 踊りの祭典 いずもだんだん祭 (島根県) 立ち上げ

日本の伝統芸能 歌舞伎の開祖とも称される「出雲阿国(いずものおくに)」。鍛冶屋の娘として生まれた阿国は出雲大社の巫女となり、そのあと、全国で巡業できるほどの芝居一座に成長し、のちに「歌舞伎踊り」の祖として歴史に名を残す。

令和五年十月二十九日、出雲阿国伝説にちなんで、出雲の地で新しい踊りの祭典「いずもだんだん祭」が開催、出雲大社相模分祠青年会より結成されたよさこい連「teamIZUMO」も神奈川県より実行委員として企画・参加し、北海道から九州まで全国のよさこい友好団体約四〇〇名と共に出雲大社(島根)境内にて奉納。また、門前町の神門通りで、艶やかな踊りを披露。



神門通り

渡して事前に行われ、そののち盛大な豆まき行事を執り行う予定。時き手の募集は、一月より公式サイトや案内状を通じて行う予定。

※令和二年豆まき節分祭の写真。写真中央が大関時代の照ノ富士閣。手前が照強閣。



出雲大社と相模は縁が深く、神話の時代、出雲國造家の祖先である第十三代出雲國造 護國命は野見宿禰と称され、相模の始祖として今も崇敬を集める。

### 令和六年 梅まつり

◇二月四日〜二月末頃迄 秦野最大級の梅の樹林帯の中にある境内は、樹齢百年を超える梅の古木で囲まれます。春の息吹を感じ、梅花を眺めながらお過ごし下さい。期間中は境内で甘酒頒布。巫女が手作りです。そのほか紅梅提灯・吊るし雛やライトアップも実施。出雲大社相模分祠写真展も同時開催。



### 南はだの村 さくらまつり

令和六年三月二十三日〜四月十四日の期間、境内において桜まつりを開催。限定御朱印・桜のライトアップや出店で賑わう。近くを通る秦野桜みちは約六・二kmにわたる県内で一番長い桜並木道とされ、たくさんの花見客で賑わう。車から降りて当分祠の桜まつりに足を運んで下さい。



### 出雲大社相模分祠 桜の愛称募集結果

令和五年春に当分祠境内中央のソメイヨシノの愛称募集したところ、全国から一四八件の応募があり、厳選なる審査の結果、左記に決定。

### 良縁桜

りりょうえんさくら

横須賀市浜口様・秦野市立石様ら複数の方から良縁桜の応募がありました。御神徳でもある「縁」に関する愛称の応募が最も多かったです。桜の町とも称される秦野を象徴するような立派なソメイヨシノとして、参拝者の心を和ませます。一生懸命考えて下さった皆様にご感謝申し上げます。

### シバヤギのモモ

令和三年二月より、当分祠の除草作業を担うシバヤギのモモ。令和六年正月に三歳を迎えるが角も凛々しく立派な体つきになってきた。雑草を食べる境内をきれいにしてくれるだけでなく、癒しのアイドルとして人気である。普段は境内竹林横で休憩している。早朝など境内をのんびり散歩していることも。おなかを壊すのでエサやりは禁止だが記念写真は歓迎。近づきすぎて頭突きをされないように要注意。



### 干支彫刻奉納

境内の鳥居の下に、毎年干支の真新しい石の彫刻が奉納される。境内東側には干支の彫刻が設置されているが、よく数えてみると十二支に足りないことに気づく。この彫刻は石を素材とした彫刻を制作している西巻一彦さんが手掛けた作品。毎年その年の干支をテーマに彫刻しお正月にお披露目するため、十二年かけてすべての干支が完成する予定。令和六年の干支「辰」は十一作品目となった。



### よさこい縁まつり

出雲大社相模分祠にて、開催されるよさこい祭り。令和五年より、出雲大社相模分祠青年会「teamIZUMO」が主体となり、「よさこい縁まつり」としてリニューアル。毎年踊り子約千人が参加。老若男女すべての世代に踊りを通して、ご縁に感謝!



予告:よさこい縁まつり2024春の神 令和6年4月中旬開催予定

### 先祖供養は祖霊社で

出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖霊祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結、ただでなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。当分祠の傍らに鎮座する祖霊社は、日本人のご先祖様の御霊をお祀りし、大神様の御傍で供養するものである。



### 納骨堂のご利用法

当社の信徒・崇敬者の方ならどなたでもご利用頂けます。実家が仏教でも、新たに神式に改めご利用可能です。納骨堂にご遺骨を安置して、鎮魂・ご供養致します。弔い上げの際には、秦野市渋沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、里山自然に還ります。後継者の、のちの管理や不安・問題も解消できます。たくさんの方々の祈りを集める祖霊社で安心の供養ができます。普段よりお参りに来られる神社で、初詣・季節のお参りの折にご一緒にお参りすることできるので安心です。「お問い合わせは出雲大社相模分祠まで。ご予約で相談会を実施。供養や墓じまいなどサポートします。」

### 祖霊社の神事

神葬祭・五十日祭(法要)・一年祭・水子供養・お盆・お彼岸供養・埋葬・永代供養・墓じまい等。ご相談お問合せは出雲大社相模分祠まで(要予約) 神事後の直会(会食も隣接する出雲記念館で出来ます。祖霊社で斎行することも御自宅、霊園への出張祭典も可能です。

### 納骨堂・神道墓地

永代供養料 三十三万円



渋沢丘陵にある神道墓地 永代供養墓

**令和五年 年越大祓の御案内**  
 十二月の晦日、恒例の年越大祓(おほはらひ)の神事が社殿にて斎行される。

齋行日  
 十二月三〇日(土)  
 午後三時  
 玉串料 三〇〇〇円  
 大祓符  
 蘇民将来符  
 授与品 蘇枕符  
 出雲そば

古来我々の先祖は、毎年六月晦日・年末の「大祓」によって心身を清浄にし、新しい年の幸せを祈願しました。この祭儀に先立ち「人形・車形」をお届け致しますのでご家族のお身体・お車をお清めになった後、同封の返信用封筒にてご返送いたたくか、大祓当日にご持参下さい。新しい一年の一層の「幸せ」のご縁をお授かりになりますようご案内申し上げます。

出雲大社相模分祠  
 分祠長 草山清和

【ご来社される場合】  
 当日ご参列の方は人形(ひとがた)・車形(くるまがた)をご準備の上、玉串料(三千円)を添えて授与所へ受付までお越し下さい。(予約不要・当日参加可)大変込み合いますので二十分前にはお越し下さい。  
 【当日来られない方】  
 当日ご参加できない方は事前にお預かり致します。人形・車形・御祈願料を封筒に入れてご持参下さい。  
 【郵送される場合】  
 ご参列の叶わない方は郵便振込にて御祈願料送料の四千円を添えてご送金下さい。後日授与品を発送致します。

**新年初祈禱の案内**

令和六年元日より新年初祈禱を斎行します。一年の平穏を御祈念し、家内安全・厄除け・八方除などぜひこの機会にご参拝お待ちしております。お正月の特別授与品として先着千名の方に「延壽屠蘇(えんじゆとそ)」を(一世帯一俵)お授け致します。

大國主大神様は古くより医薬の神様として信仰されています。この屠蘇は、無病息災厄除のために、山椒・防風・大黃など十数種の薬草を調合し、酒にひたして飲んだのが始まりで、邪気を屠り、魂を蘇らせることから「屠蘇」と名付けられたといわれています。この延壽の屠蘇は、新年に当り崇敬者の方々の無病息

**人形・車形の使い方**

人形とは古くより禊や祓をするときに人間の身代わりとして用いてきました。撫物(なでもの)ともいわれる厄を移した後、川などに流してしましました。当分祠では夏冬の大祓の際に、人形(ひとがた)・車形(くるまがた)を用意し、人形・車形を形代(かたしろ)にして自らの罪穢れを移しお祓いします。

人形の紙に氏名を記入し、息を三回吹きかけ、頭から全身気になる場所を撫で、悪い気を取り移してお祓いします。車形に氏名・ナンバールを記入し同様愛用しております。乗用車、二輪車、バイク

【大祓車形記入例】  
 【大祓人形記入例】



災、稼業繁栄、交通安全をお祈りし、御神前にてお祓いを行った後、各ご家庭におわちするものであります。また大神様は商売繁盛の神様として名高く崇敬を集めております。会社の仕事初めの際には新年祈禱として「事業繁栄」・「商売繁盛」などお受けしております。会社祈禱に際しましては事前に予約も承っております。(但し玉串料一万円より)詳細はホームページに記載しておりますのでご相談ください。

**期間限定 立春大吉縁起頒布**

立春を寿ぎ大吉を招く幸運の縁起物



立春大吉縁起とは、天地自然の靈気を正しく受け、平穩無事に過ごすことのできる万民に福をもたらす縁起物です。本年は、より多くのお福わけを頂けるよう、明るい社会を祈念して緑色に奉製致しました。この色は忍耐と成長を不す植物の緑より多くの運氣をお分けいた

だき、明るく希望に満ちた一年に致します。社頭に於いて十二月十五日より二月十九日まで、一〇〇〇円で頒布しております。尚、事情により来社できない方は郵送(お振込み・代引き)の頒布も承っております。当分祠のホームページで詳しいお申込みご案内がございます。

**◇郵送祈禱は左記のゆうちょ銀行口座で受付**

◎他行からのお振込みの場合  
 ゆうちょ銀行  
 店名 【029店(ゼロニキュウ店)】  
 口座番号 【当座37940】  
 口座名 【宗教法人 出雲大社相模分祠】  
 ◎ゆうちょ銀行間の送金の場合  
 ゆうちょ銀行  
 取扱票番号【00220-7-37940】  
 加入者名 【宗教法人 出雲大社相模分祠】



**令和6年 年回り早見表**

令和6年生 2024年 満0歳 数え1歳 八方除	令和5年生 2023年 満1歳 数え2歳 八方除	令和4年生 2022年 満2歳 数え3歳	令和3年生 2021年 満3歳 数え4歳 八方除	令和2年生 2020年 満4歳 数え5歳	令和元年生 平成31年生 2019年 満5歳 数え6歳	平成30年生 2018年 満6歳 数え7歳 八方除	平成29年生 2017年 満7歳 数え8歳 暗剣殺	平成28年生 2016年 満8歳 数え9歳	平成27年生 2015年 満9歳 数え10歳 八方除	平成26年生 2014年 満10歳 数え11歳 八方除	平成25年生 2013年 満11歳 数え12歳	平成24年生 2012年 満12歳 数え13歳 八方除	平成23年生 2011年 満13歳 数え14歳	平成22年生 2010年 満14歳 数え15歳	平成21年生 2009年 満15歳 数え16歳 八方除	平成20年生 2008年 満16歳 数え17歳 暗剣殺
平成19年生 2007年 満17歳 数え18歳 前厄(女)	平成18年生 2006年 満18歳 数え19歳 本厄(女) 八方除	平成17年生 2005年 満19歳 数え20歳 後厄(女) 八方除	平成16年生 2004年 満20歳 数え21歳	平成15年生 2003年 満21歳 数え22歳 八方除	平成14年生 2002年 満22歳 数え23歳	平成13年生 2001年 満23歳 数え24歳 前厄(男)	平成12年生 2000年 満24歳 数え25歳 本厄(男) 八方除	平成11年生 1999年 満25歳 数え26歳 後厄(男) 暗剣殺	平成10年生 1998年 満26歳 数え27歳	平成9年生 1997年 満27歳 数え28歳 八方除	平成8年生 1996年 満28歳 数え29歳 八方除	平成7年生 1995年 満29歳 数え30歳	平成6年生 1994年 満30歳 数え31歳 八方除	平成5年生 1993年 満31歳 数え32歳 前厄(女)	平成4年生 1992年 満32歳 数え33歳 本厄(女)	平成3年生 1991年 満33歳 数え34歳 後厄(女) 八方除
平成2年生 1990年 満34歳 数え35歳 暗剣殺	平成元年生 昭和64年生 1989年 満35歳 数え36歳 前厄(女)	昭和63年生 1988年 満36歳 数え37歳 本厄(女) 八方除	昭和62年生 1987年 満37歳 数え38歳 後厄(女) 八方除	昭和61年生 1986年 満38歳 数え39歳	昭和60年生 1985年 満39歳 数え40歳 八方除	昭和59年生 1984年 満40歳 数え41歳 前厄(男)	昭和58年生 1983年 満41歳 数え42歳 本厄(男)	昭和57年生 1982年 満42歳 数え43歳 後厄(男) 八方除	昭和56年生 1981年 満43歳 数え44歳 暗剣殺	昭和55年生 1980年 満44歳 数え45歳	昭和54年生 1979年 満45歳 数え46歳 八方除	昭和53年生 1978年 満46歳 数え47歳 八方除	昭和52年生 1977年 満47歳 数え48歳	昭和51年生 1976年 満48歳 数え49歳 八方除	昭和50年生 1975年 満49歳 数え50歳	昭和49年生 1974年 満50歳 数え51歳
昭和48年生 1973年 満51歳 数え52歳 八方除	昭和47年生 1972年 満52歳 数え53歳 暗剣殺	昭和46年生 1971年 満53歳 数え54歳	昭和45年生 1970年 満54歳 数え55歳 八方除	昭和44年生 1969年 満55歳 数え56歳 八方除	昭和43年生 1968年 満56歳 数え57歳	昭和42年生 1967年 満57歳 数え58歳 八方除	昭和41年生 1966年 満58歳 数え59歳	昭和40年生 1965年 満59歳 数え60歳 前厄(男)	昭和39年生 1964年 満60歳 数え61歳 還暦 本厄(男) 八方除	昭和38年生 1963年 満61歳 数え62歳 後厄(男) 暗剣殺	昭和37年生 1962年 満62歳 数え63歳	昭和36年生 1961年 満63歳 数え64歳 八方除	昭和35年生 1960年 満64歳 数え65歳 八方除	昭和34年生 1959年 満65歳 数え66歳	昭和33年生 1958年 満66歳 数え67歳 八方除	昭和32年生 1957年 満67歳 数え68歳
昭和31年生 1956年 満68歳 数え69歳	昭和30年生 1955年 満69歳 数え70歳 古希(こき) 八方除	昭和29年生 1954年 満70歳 数え71歳 暗剣殺	昭和28年生 1953年 満71歳 数え72歳	昭和27年生 1952年 満72歳 数え73歳 八方除	昭和26年生 1951年 満73歳 数え74歳 八方除	昭和25年生 1950年 満74歳 数え75歳	昭和24年生 1949年 満75歳 数え76歳 八方除	昭和23年生 1948年 満76歳 数え77歳 喜寿(きじゆ)	昭和22年生 1947年 満77歳 数え78歳	昭和21年生 1946年 満78歳 数え79歳 八方除	昭和20年生 1945年 満79歳 数え80歳 傘寿(さんじゆ) 暗剣殺	昭和19年生 1944年 満80歳 数え81歳	昭和18年生 1943年 満81歳 数え82歳 八方除	昭和17年生 1942年 満82歳 数え83歳 八方除	昭和16年生 1941年 満83歳 数え84歳	昭和15年生 1940年 満84歳 数え85歳 八方除
昭和14年生 1939年 満85歳 数え86歳	昭和13年生 1938年 満86歳 数え87歳	昭和12年生 1937年 満87歳 数え88歳 米寿(べいじゆ) 八方除	昭和11年生 1936年 満88歳 数え89歳 暗剣殺	昭和10年生 1935年 満89歳 数え90歳 卒寿(そじゆ)	昭和9年生 1934年 満90歳 数え91歳 八方除	昭和8年生 1933年 満91歳 数え92歳 八方除	昭和7年生 1932年 満92歳 数え93歳	昭和6年生 1931年 満93歳 数え94歳 八方除	昭和5年生 1930年 満94歳 数え95歳	昭和4年生 1929年 満95歳 数え96歳	昭和3年生 1928年 満96歳 数え97歳 八方除	昭和2年生 1927年 満97歳 数え98歳 暗剣殺	昭和元年生 大正15年生 1926年 満98歳 数え99歳	大正14年生 1925年 満99歳 数え100歳 八方除	大正13年生 1924年 満100歳 数え101歳 八方除	大正12年生 1923年 満101歳 数え102歳

※最初にお生まれの年を確認してください。該当の枠に書いてある年回りになります。(厄年・八方除けなど)  
 ※今年の誕生日が来てこの表の該当年齢となりますが、新年を迎えたら誕生日前でも御祈願を承ります。(誕生日が来てからではなく年が替わったら早くうけたほうがいいです。)  
 ※1月1日より2月3日までに生まれた人はその前年生まれの人と同じになります。表の一つ右を見て下さい。  
 ※数え年で見るものですが、御祈願は年齢に関わらずお受けいたします。(数え年でも満年齢でも)  
 ※御祈願は一つの願意につき一俵のお札を用意します。玉串料もそれぞれ必要になります。  
 ※暗剣殺など年回りで気になる方は障除の御祈願になります。  
 ※三万円以上の玉串料の御祈願をする際は巫女舞を奉納します。  
 ※表の八方除とは八方塞・鬼門・裏鬼門・歳破を指しています。

祈願料 五千元・七千元・一万元・二万元・三万元(巫女舞奉納)  
 家内安全・縁結び・厄除・八方除・障除・身体健全・商売繁盛・事業繁栄・社運隆昌・神恩感謝・交通安全・御車誠・安産・初宮詣・お宮参り・七五三・必勝祈願・合格祈願・学業成就・方位除け・お焚き上げ・長寿・還暦・古希・地鎮祭・出張祭典 等 随時承ります。